

2021年度の社会貢献活動について

公益社団法人リース事業協会

はじめに

公益社団法人リース事業協会（以下、協会という。）では、リース契約が終了したリース終了物件（パソコン）を会員会社から無償で提供を受け、整備しソフトウェア（OS：Windows10）を搭載した上で、東日本大震災および自然災害により被災した方々を支援している非営利法人・団体や社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人・団体、各地の特別支援学校へ寄贈する活動を行っています。

2021年度の活動では、東日本大震災の復興支援として6非営利法人へ9台、自然災害の被災地支援として1非営利法人へ5台、社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等への支援として20非営利法人・団体へ28台、特別支援学校への支援として16校へ32台、合計74台を寄贈しました（表1）。

2011年度に本活動を始めてから2021年度までの寄贈数累計は1,949台となりました。

リース終了パソコン寄贈活動以外では、会員会社の協力により企業で使用されている封

筒を特別支援学校へ寄贈しており、2021年度は17万枚以上を寄贈し、全国の特別支援学校の作業学習で活用いただきました。

また、特別支援学校に会員企業からの作業依頼、作業学習用教材を提供する他、協会事務局から備蓄品等を非営利法人等へ寄贈する活動を行いました。

当協会の社会貢献活動で使用する会員会社から提供いただくリース終了パソコンや会員会社で不要となった封筒の再利用は、リース業界全体で積極的に取り組んでいる3R（リデュース [発生抑制]・リユース [再使用]・リサイクル [再生利用]）の推進にも役立っています。

本稿では2021年度に実施した協会の社会貢献活動についての報告と2022年度の活動計画をご紹介します。

1. 東日本大震災復興支援活動

[対象:被災3県(岩手県・宮城県・福島県)]

東日本大震災復興支援活動では、被災現地で活動を行う非営利法人・団体のニーズと、

表1 2021年度リース終了パソコン寄贈実績

	寄贈先	寄贈台数
東日本大震災復興支援活動	6 法人	9 台
上記以外の自然災害の被災地支援活動	1 法人	5 台
社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等への支援活動	20法人	28台
特別支援学校に対する支援活動	16校	32台
総 計	43	74台

支援を行いたい企業等をマッチングする復興庁の「被災者支援コーディネート事業」を活用しています。

2021年度、協会では岩手県の2法人へ4台、宮城県の4法人へ5台のリース終了パソコンを寄贈しました（表2）。

寄贈先の法人では、就業支援や居場所づくり・見守り・子ども食堂を運営するなど、地域を活性化・支援する活動を行っています。

2011年に発生した東日本大震災から11年が経過し、災害発生時は47万人だった避難者は、

2022年3月時点で3.7万人まで減少しました。福島県でみると、避難指示解除区域全体の居住者数は徐々に増加し、2017年4月に約0.4万人でしたが、2022年3月時点で約1.5万人となっています^{*1}。

今後は生活環境を整え、人々が街で暮らし、地域のコミュニティーを再構築するための支援活動が活発になることにより、街の再建が進むことが期待されます。

※1 復興庁「復興の現状と今後の取組（令和4年4月）」より

表2 寄贈先法人

	寄贈先法人名	活動拠点	寄贈台数
1	一般社団法人BIG UP石巻	宮城県	1台
2	特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク	宮城県	1台
3	公益財団法人共生地域創造財団	宮城県	1台
4	特定非営利活動法人ガバチョ・プロジェクト	岩手県	2台
5	一般社団法人ワタママスマイル	宮城県	2台
6	NPO法人きょうせい大船渡	岩手県	2台

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 復興予算も震災10年が経過するとともに縮小されている。今後は震災で浮き彫りとなってきた地域に元々あった課題を地域でどう対応していけるかを地域資源となる人や団体への支援を通して模索していく。
- ▶ 団体が所持しているパソコンは型番が古く、処理能力が低下した状態にある。作業効率向上のため、パソコンの更新が必要であるが、予算との兼ね合いで対処できていない。
- ▶ コロナ禍で対面での打合わせ等が出来ない状況の中、リース終了パソコンを活用し、オンラインでの打合わせの実施や、事務管理等に活用していきたい。
- ▶ ご寄贈いただいたパソコンが、とてもきれいな状態のもので驚いております。これからの活動に有効に活用してまいります。心より感謝申し上げます。

※寄贈パソコン応募時等にいただいた情報により作成しました。

2. 自然災害の被災地支援活動

[対象：全国]

自然災害の被災地支援活動では、紛争や災害、貧困などの脅威にさらされている人びとに対して支援活動を行っている特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン様（以下、「PWJ様」という。）へリース終了パソコン

5台を寄贈しました（表3）。

PWJ様は、1996年の設立以来、世界36の国と地域で、緊急人道支援、災害支援、地方創生などの活動をされています。

当協会では、様々な被災地域における豊富な被災者支援の経験を持つPWJ様への寄贈により、より機動的かつ広域にわたる支援活動ができるよう、サポートしてまいります。

寄贈先の法人からは、「頂いたパソコンは、災害支援の現場や後方支援を行う国内の事務所、連絡・報告や事業管理に大切に使用

させていただきます。」とのコメントをいただいております。

表3 寄贈先法人

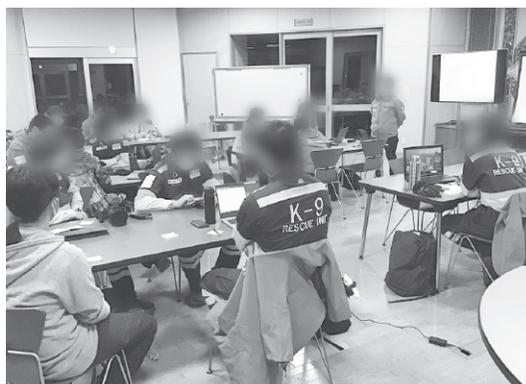
寄贈先法人名		活動拠点	寄贈台数
1	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン	広島県	5台

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

▶ 効果的な支援活動を行うために、パソコンをはじめ、IT機器の利用が不可欠であるが、まだまだ設備面への投資ができない状況である。パソコンの寄贈に心より感謝申し上げます。

※寄贈パソコン応募時にいただいた情報により作成しました。

リース終了パソコンを利用した定期訓練の様子



3. 社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動

[対象：全国]

2021年度の「社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動」では、公共機関（児童相談所・区市町村役場・学校等）と連携し

- ① 児童養護施設以降の生活等を支援
 - ② 社会的養護^{*2}が必要な児童等への支援
 - ③ 長期療養・病弱児の院内学習支援
- 上記3つの活動を行う非営利法人・団体および、子どもの貧困・教育問題に取り組む非営

利法人・団体、20法人から申し込みを受け、審査の後、リース終了パソコン28台を寄贈しました（表4）。

児童養護施設を退所された学生や、社会的養護が必要な児童・生徒が生活をするシェアハウス・ファミリーホーム・自立援助ホーム・シェルターなどを運営する支援法人・団体では、資金不足から利用者向けのパソコンを十分に整備することが難しい状況です。

一方、コロナ禍でリモート授業やインターネットを利用した学習は増えました。利用者の中には、金銭的な理由からパソコンなどを持っていない方もおり、オンライン授業が重

表4 寄贈先法人

寄贈先法人名		活動拠点	寄贈台数
1	特定非営利活動法人ホザナ・ハウス	兵庫県	2台
2	特定非営利活動法人子どもの教育・生活支援「アニー基金」プロジェクト	千葉県	1台
3	一般社団法人LANS	茨城県	1台
4	特定非営利活動法人ノースガイア	静岡県	2台
5	特定非営利活動法人スマイルの仲間たち	埼玉県	1台
6	特定非営利活動法人NGOフク21ふらっとホーム	東京都	1台
7	認定NPO法人青少年の自立を支える会シオン	茨城県	2台
8	特定非営利活動法人Village	埼玉県	2台
9	認定特定非営利活動法人ブリッツフォースマイル	東京都	3台
10	特定非営利活動法人子どもセンター・ピッピー	埼玉県	1台
11	特定非営利活動法人学生支援ハウスようこそ	東京都	1台
12	特定非営利活動法人フードバンク調布	東京都	1台
13	フードバンク熊本	熊本県	1台
14	フードバンクちば	千葉県	2台
15	フードバンク下関	山口県	2台
16	フードバンク滋賀	滋賀県	1台
17	一般社団法人フードバンクびわ湖	滋賀県	1台
18	高知あいあいネット・フードバンク高知	高知県	1台
19	フードバンクてしおて	鹿児島県	1台
20	フードバンクみたか	東京都	1台

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 利用者の中には通信高校に通いながら学習を続ける者もいる。金銭的な理由からパソコン等を購入できず、学習的・将来的に必要な情報収集が難しいことが多々ある。また、入居者の中には、大学に通う者もあり、大学のオンライン授業等にもリース終了パソコンを活用したいと考えている。
- ▶ 児童養護施設の子は皆がパソコンを持ちたがっているが、予算に入っていないため、ずっと持たずにいる。就職にもパソコンの使い方が大事で、級をとることも彼らの財産である。
- ▶ 5人の子どもが自立援助ホームに入居中で通信制高校に通っているが、コロナ禍でWeb授業やインターネットを利用した学習が増えた。パソコンが不足しており、一斉に授業を受けることができないため、リース終了パソコンを活用して、授業に参加させてあげたいと考えている。
- ▶ フードバンク活動では、ボランティア人員及び資金の不足は常態化しているが、それをカバーするのがITCである。IT環境を整えるためにパソコンを希望する。
- ▶ この度はリース終了パソコンをご寄付頂き、誠にありがとうございました。活動にご理解・ご支援を頂き、スタッフ一同、深く感謝しております。

※寄贈パソコン応募時等にいただいた情報により作成しました。

なる場合には、施設に準備されているパソコンだけでは数が足りず、受講することができないといったことも生じているようです。支援を行う非営利法人・団体へリース終了パソ

コンを寄贈することで、それぞれの学生がリモート授業に同時に参加できるようになります。

また、コロナ禍で経済状況が悪化した家庭もあり、フードバンク事業への期待はますます

す高まっています。

支援を必要としている家庭からの需要が増えているだけでなく、フードロス削減を進める企業や団体からの提供も積極的になっている流れがあり、フードバンク事業の運営はますます多忙となっています。フードバンク事業の効率化を進めるためにも、パソコンは必須となっています。

施設利用者である児童・生徒・学生への学習支援および、フードバンク事業における効率化、いずれも今後も引き続きニーズがあると感じます。

2021年度に実施したその他備品の寄贈活動としては、協会事務局において備蓄している食品・飲料水・マスク等について、11の非営利法人・団体へ寄贈しました。

※2 保護者のいない児童や、保護者がいても何らかの理由で育てることが困難な児童など、保護や養育を必要とする子どもに対し、行政の責任で保護・養育を行うしくみを、「社会的養護」と言います。

4. 特別支援学校に対する支援活動

①各地の特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈 [対象：千葉県・福井県]

特別支援学校に対するリース終了パソコン寄贈活動では、全国の特別支援学校のうち、パソコン整備率（文部科学省：学校における教育の情報化の実態等に関する調査）などを

勘案し、2021年度は千葉県と福井県へ寄贈のご案内をしました。応募のあった16校に合計32台のリース終了パソコンを寄贈しました。

特別支援学校におけるノートパソコンの設置状況については、以前から不足しているとの声が上がっていましたが、予算不足などにより早急な改善はなかなか難しい状況です。

古いバージョンのパソコンを利用していることにより、授業においてインターネットを使った調べ学習ができないことや、コロナ禍の中でリモート授業も取り入れられる中、教室へ持ち運びができるノートパソコンが不足している状況であることを数多くお知らせいただいています。

その中でも、病弱の児童・生徒に対して教育活動を行っている特別支援学校では、様々な疾患・病状を持つ通学生・病棟生・訪問生・院内生といった異なる形で在籍されている児童・生徒の状況にあわせた教育活動が必要になるため、パソコンのニーズが高くなります。

また、院内学級では児童・生徒の入退院により頻繁に生徒数が増えることから、生徒数の増加に対応できるだけのノートパソコンの導入が課題となっています。

コロナ禍によるニーズの増加だけでなく、特別支援学校ならではの児童・生徒の状況にあわせた教育を支障なく行っていくためにも、支援の継続が望まれます。

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ ノートパソコン数台は購入から15年経っており、WindowsXPをバージョンアップして使用している状況である。
- ▶ 生徒の実習用としてデスクトップ機が設置されている。他に教育用のタブレットはあるものの生徒用のノートパソコンは存在しない。デスクトップ機もWindows8でWindows10は1台もない。
- ▶ 1台は、生徒が増加した時に生徒の実習用パソコンとして使用したり、病室に持ち込んで授業するために使用する。OSがWindows10である貴重なパソコンとして使用する。
- ▶ 社会に出る時にICTを上手に活用できるようにしてあげたいと考えている。是非、この機会に活用し児童生徒の学びに繋がる一助にしたいと考えている。

※寄贈パソコン応募時等にいただいた情報により作成しました。

②各地の特別支援学校に対する作業学習用教材の提供 [対象：全国] (表5)

当協会では、社名変更や事務所移転などにより、会員会社で使用しなくなった封筒や各種教材を特別支援学校へ寄贈し、作業学習で活用いただいている他、会員会社から依頼される作業を特別支援学校で実施しています。

2021年度は会員会社17社の協力により、合計17万枚を超える封筒を寄贈した他、教材・作業依頼を1都1府11県合計63校へ提供しました。

特別支援学校の作業学習では、発送作業の練習(ラベル貼・宛名書き・封入・封緘・押印)で封筒を利用した後、最終的にシュレッダー作業までを行っている他、会社情報部分にマスキングテープや紙などを貼付した上で、校

内配布物用の封筒を作成したり、ポチ袋の作成、英字新聞で装飾し取っ手を付けたバックなどを作成しています。

コロナ禍において、校外での現場実習ができるかどうか不透明な中、作業学習用教材の提供により校内実習の要素を増やすことができることに加え、多くの学校ではアビリンピック^{※3}へ出場するために練習用の封筒として活用いただいています。

※3 全国障害者技能競技大会。「アビリンピック」(ABILYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたもの。事務補助に関する技能については「オフィスアシスタント」という競技課題があります。

特別支援学校での作業の様子と作品



〈作業学習用教材の活用方法など(抜粋)〉

- ▶ 封入作業に必要な技能練習・スタンプ押し・宛名書きの技能練習等。
- ▶ アビリンピックのオフィスアシスタント競技の練習等。
- ▶ きれいな封筒を多数いただき、本当にありがとうございます。子供達の学習に是非役立たせていただきます。コロナ禍の折、暗い話題が多くなりがちですが、このようなことをしていただけると心が大変あたたかくなります。大事に使わせていただきます。
- ▶ 校内のリサイクル封筒では、サイズも様々なため、同一規格の封筒がそろうことで現実的な作業に近づくとともに、アビリンピックの練習に取り組みやすくなる。
- ▶ コロナ禍ということで、現場実習もできるか不透明な中、校内実習に向けた教材はとてもありがたい。
- ▶ 送っていただいた封筒の修正シール貼りは、皆集中して取り組んでいました。校内での作業ではなかなか経験できないことが経験でき、皆張り切っています。

※寄贈封筒応募時等にいただいた情報により作成しました。

③東京都立港特別支援学校の作業学習への協力 [対象：東京都] (表5)

東京都立港特別支援学校での就労移行支援活動^{*4}は、普通科（オフィスワーク）11名および職能開発科60名の生徒を対象として実施しました。

2021年度の活動も昨年度同様、新型コロナウイルスの影響を受けましたが、緊急事態宣言中にはZoomを使用したリモートでの作業学習を企画・実施するなど、初めてのことにも挑戦できました。

リモートでの作業学習では、Zoomの機能を説明しながら作業学習を進める中で、慣れている生徒が積極的に様々な機能を使い意思表示をしながら参加してくれていたことに、通常の作業学習では見ることができない意外な一面を知ることができました。

今年度も新型コロナウイルスの影響により協会が主催する各地の会議が中止となったことから、発送業務量が減少し、例年行っている作業内容を変更する必要がありましたが、そのような中でも、感染症対策をしっかり行なった上で学校を訪問し、出来る限り例年の作業に近付ける形で作業学習を実施することができました。

普通科では、郵便物の発送作業（押印・ラベル貼付・2つ折り・丁合・封入・封緘）や、

ビジネスマナー・事務に役立つ講座・メモを取る練習を行いました。

新型コロナウイルスの拡大前までは例年、最後の作業学習は協会の会議室で実施し、常勤役員および事務局職員が見守る中で、作業を行っていただいた生徒の皆様へ感謝状をお渡ししていましたが、感染症対策の為に学校外での活動が難しい状況であったことから、場所を教室とし、作業学習担当スタッフからの感謝状授与となりました。

一方、職能開発科では、昨年度に引き続き、協会事務局に所蔵している書籍の奥付をデータ入力する業務を依頼した他、新たに協会設立50周年記念に作成したシールを名刺に貼付する作業、宅配伝票と経理伝票への転記作業も依頼しました。

※4 就労移行支援活動は、企業に就職する前段階（学校）においてあらかじめ、企業で行われている郵便物の発送など、一部の業務を学校内で体験することで、就職後の業務がスムーズに行えるようになることを目的とするとともに、学校関係者以外の第三者（作業依頼者）との会話をとおし、コミュニケーション能力を向上させ、自信をもって社会に出ていってもらうことを目標にしています。

〈作業学習に参加した生徒の感想（一例）〉

- ▶ ステープラを使った3つ折りを教えていただき、作業が早く、丁寧にできるようになりました。卒業後も生かせるようにしていきます。
- ▶ 紙を早く数える方法やメモ取りが前よりも出来るようになりました。
- ▶ マナーや3つ折りなど、教えていただいたことを社会人になっても生かしていきたいです。
- ▶ メモの取り方を教えて頂きありがとうございます。難しかったけれど少し上手になりました。学校でもメモを頑張りたいと思います。

表5 作業学習用教材の提供活動

教材内容	提供先
封筒提供：合計171,066枚	岩手県 1校 青森県 4校 山形県 2校 栃木県 6校 茨城県 5校 埼玉県 15校 東京都 1校 長野県 5校 愛知県 4校 京都府 4校 島根県 5校 広島県 4校 鹿児島県 1校
作業（押印・社内封筒作成・マーカー引き）	東京都3校
書類・調査票発送作業（ラベル貼・丁合・封入・封緘等）	東京都1校
パンフレット発送作業	東京都1校
冊子発送作業	東京都1校
書籍奥付DB作成作業	東京都1校
宅配伝票・経理伝票への転記作業	東京都1校
名刺へのシール貼付作業	東京都1校
クリアファイルセット作業	東京都1校
PDFファイル化作業	東京都1校
封入練習用パンフレット・チラシ・冊子・色裏紙の提供	青森県1校 長野県1校 愛知県1校 京都府1校
クリアファイルの提供	埼玉県5校 愛知県1校 京都府1校 島根県3校
封筒への修正用シールの提供	栃木県4校 広島県1校
使用済み切手の提供	東京都1校

※上記は、協会事務局からの提供を含みます。

5. 2022年度の活動計画

2022年度の社会貢献活動は、引き続き下記の3分野での活動を予定しています。

これらの活動を実施するために必要となるリース終了パソコンおよび作業学習用教材については、会員会社から募集します。

①東日本大震災等の自然災害の被災地に対する支援活動

東日本大震災の被災地・被災者支援では、引き続き復興庁「被災者支援コーディネート事業」を通じたリース終了パソコンの寄贈活動を行います。[対象:岩手県・宮城県・福島県]

また、自然災害において被災地域・被災者を支える活動を行う非営利法人・団体を支援する活動を継続します。[対象：全国]

②社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動

2022年度における「社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動」では、公共機関（児童相談所・区市町村役場・学校等）と連携し

1. 児童養護施設以降の生活等を支援
 2. 社会的養護が必要な児童等への支援
 3. 長期療養・病弱児の院内学習支援
- 上記3つの活動を行う非営利法人・団体およ

び、子どもの貧困・教育問題に取り組む非営利法人・団体を支援する活動を継続します。
[対象：全国]

③特別支援学校に対する支援活動

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」（文部科学省）を参考に、全国の特別支援学校におけるパソコン整備率などを勘案し、2～3道府県の特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈活動および会員会社から提供される作業学習用教材を提供する活動を継続します。[対象：全国]

また、東京都立港特別支援学校における就労移行支援活動についても継続します。[対象：東京都]

さいごに

2021年度も、新型コロナウイルスの感染状況により様々な活動が左右される1年となりました。

地震や豪雨などの災害が発生し、甚大な被害が生じていても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティアは地域の方々のみでの活動となるなど、被災地での直接的な支援は難しい状況が続いています。

そのような中、災害支援を専門とする非営利法人・団体を支援する活動は、より効率的にリース終了パソコンをご利用いただくための方法の1つであると考えます。

また、社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等および特別支援学校への支援活動においても、感染症対策としてのリモート授業、リモート会議などが「新しい日常」の一部となる中、リース終了パソコンのニーズはさらに高まっていると感じていま

す。一人でも多くの子どもが、貧困や様々な要因により教育機会を失うことの無いよう、様々な活動を行う非営利法人・団体への支援活動は今後も継続して必要となります。

一方、特別支援学校への作業学習用教材提供活動においても、感染症対策のため現場実習の先行きが不安定であることから、校内での作業を充実させたいとの要望による提供依頼が増えていますので、リース終了パソコン寄贈活動・作業学習用教材の提供活動共に、今後も、迅速に支援活動を行うことができるよう、万全の準備をしております。

当協会のこれらの活動は「モノを最大限に活用する」という点において、昨今「環境負荷の低減」を目標とした「資源循環」「脱炭素」への取組のひとつとしても位置付けられます。このことから、この活動を継続することは、社会的に大きな意義があることと考えます（参考資料 図1）。

14頁からの別添資料では、リース終了パソコンや作業学習用教材を寄贈した非営利法人・団体・特別支援学校からいただいた声を紹介しています。リース終了パソコンや作業学習用教材が様々な場面でお役に立てている様子がうかがえますので是非ご一読ください。

最後になりましたが、リース終了パソコンの寄贈活動および作業学習用教材の提供活動は、会員会社の協力を得て、数多くの方々に支えられて成り立っています。当協会の社会貢献活動にご協力いただいているすべての企業・団体・教育機関の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きご協力を賜りますよう、宜しく申し上げます。

【参考資料】

〈リース終了パソコン寄贈活動の展開〉



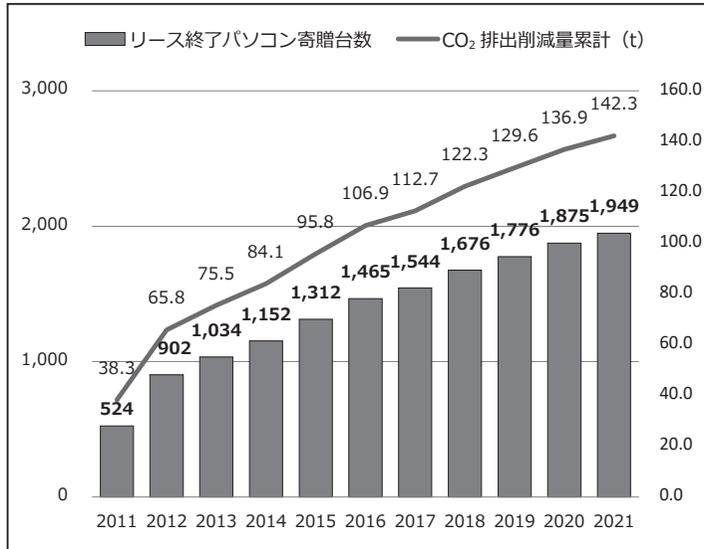
〈リース終了パソコンの寄贈実績〉

(単位：台)

支援活動	2011年度 ～2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	累計
東日本大震災復興支援活動	1,071	114	42	29	19	11	1	9	1,296
上記以外の自然災害の被災地支援活動		10	91	10	54	20	10	5	200
社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等への支援活動				12	31	13	68	28	152
特別支援学校に対する支援活動	81	36	20	28	28	56	20	32	301
合計	1,152	160	153	79	132	100	99	74	1,949

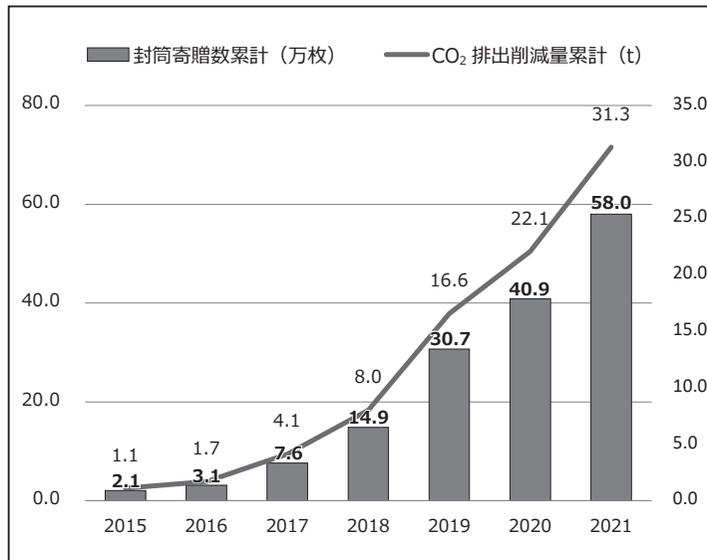
図1 当協会の社会貢献活動で削減できるCO₂の排出抑制効果

〈リース終了パソコンの寄贈台数とCO₂排出削減量（累計）〉



* CO₂排出削減量はメーカーA社の公表データに基づき試算しました。リース終了パソコンを再利用することにより、新品パソコンの製造から出荷までのCO₂の排出量が削減できます。

〈作業学習用教材の寄贈数とCO₂排出削減量（累計）〉



* CO₂排出削減量はメーカーB社の公表データに基づき試算しました。封筒を再利用することにより、新品封筒の製造から出荷までのCO₂の排出量が削減できます。

【リース終了パソコンを提供した会員会社名（2021年度）】

【正会員】

三井住友ファイナンス&リース(株)／鹿島リース(株)／JA三井リース(株)／東京センチュリー(株)
芙蓉総合リース(株)／みずほリース(株)／三菱HCキャピタル(株)／昭和リース(株)
みずほ東芝リース(株)／NECキャピタルソリューション(株)

【作業学習用教材を提供した会員会社名（2021年度）】

【正会員】

三菱HCキャピタル(株)／三井住友トラスト・パナソニックファイナンス(株)
ごうぎんリース(株)／みずほ東芝リース(株)／オリックス(株)／SFIリーシング(株)
東銀リース(株)／昭和リース(株)／みずほリース(株)／JA三井リース(株)／芙蓉総合リース(株)
三井住友ファイナンス&リース(株)／みずほ丸紅リース(株)

【賛助会員】

松江リース(株)／T&Dリース(株)／AJCC(株)／(株)札幌北洋リース

(別添)

*寄贈パソコン・封筒応募時に各法人・団体・教育機関からいただいた情報および寄贈後にいただいたお礼等をもとに作成しました。

リース終了パソコン寄贈活動

**【東日本大震災およびその他の自然災害被災地支援】
(岩手県)**

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
音楽や芸術を通して被災者の心を復興活動。	①オンライン会議のツールを活用し、被災地(釜石市)のアマチュアの音楽家と首都圏のプロの音楽家と交流する機会をつくり、アマチュア音楽家のレベルアップを図り、地域の音楽活動の活性化をつなげていきたい②被災地(釜石市等)で公演するコンサートやミュージカルに出演する首都圏等のプロの音楽家との打ち合わせ③釜石市のアマチュアの音楽家と釜石以外の被災沿岸地域のアマチュアの音楽家と交流の機会をつくる。	①今年度上演した「放送作家の井上ひさし」さんのお母さまが住んでいた釜石を題材としたミュージカルを釜石市で再上演したいと考えている。②さらに首都圏で上演したいと思っている。
(被災世帯等の生活の安定を目指し、被災者ひとり人に伴走しながら支援する) ①訪問活動・情報収集②生活再建相談支援③交流機会創出活動④災害公営住宅の交流機会を創るため、サロンやイベント等の開催やコーディネートのほか、地域交流活動の相談・サポートを行っている。	①データベース化:訪問活動等で把握した世帯状況等の支援活動履歴の記録など。 ②情報発信:当法人の知名度を上げる目標を含めて広報活動を行う。具体的にはホームページやSNSを利用して活動の様子、イベント等の告知などを随時発信する。支援が必要な人との出会いや伴走者(協力者)に出会うきっかけづくりを行う。	東日本大震災から10年以上経ち、表面的には様々な課題が解決したように見えて、高齢独居世帯の孤立という課題が残った。将来は誰もが「コミュニティカフェ」を開設し、「人と人、人と社会がつなぐ」「地域に支えられ、地域を支える」、そんな支援が張り巡らされた地域、生き生きとそして穏やかに安心して暮らせる地域づくりを地域の人たちと行っていきたい。 この度は大変お世話になりました。ありがとうございます。

(宮城県)

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
石巻市大街道地区での支援活動。 泥出しや瓦礫撤去等の緊急災害支援活動から始まり町内会や子育て会への側面支援を行い地域活性化や街づくり。 在宅被災者に特化した情報誌を発行して6,000世帯へ全戸配布を5年間実施。現在は子ども支援事業を軸にして地域と関わり続けている。子ども食堂、子どもの職業体験、農業体験等の事業を実施している。	活動報告、事務処理、チラシ作成等。 現在使用しているパソコンの動作の反応がかなり遅くなってきているので、データ移行を行い改善を図りたい。	今後は子ども食堂をもう一か所開設。フードロスに向けて「コミュニティフリッジ」という食糧貯蔵施設を開設。賞味期限周辺の廃棄予定食品を企業より集め、子ども食堂、ひとり親世帯、困窮世帯等好きな時間に受け取れるような仕組みづくりを行いたいと考えている。
「私らしく生きるが叶えられるまち」を目指し、石巻圏域において、女性活躍推進・子育て支援・復興支援で活動を行っている。地域住民、企業やNPO、行政等と連携し、地域の課題解決に取り組んでいる。	継続的に被災地で活動を続け、現在は女性相談や子育て相談会等の相談記録作成、事業関連の資料作成、会計管理やオンラインを使用した相談対応等を実施しているが、団体が所持しているパソコンは型番が古く、処理能力が低下している状況にある。スタッフの作業効率向上のため購入を検討しているが、活用できる助成金や補助金は少なく、予算との兼ね合いから対応できていない。今回の事業を活用させて頂き、復興だけでなく、平時における課題解決に向けて活用させて頂きたい。	復興予算が縮小されていく中で、事業収益や寄付金額を得る事業構築や仕組みづくりが課題となっており、現在関係各所の補助を受け財源強化に取り組んでいる。 ご寄贈いただいたパソコンが、とてもきれいな状態のもので、驚いております。これからの活動に有効に活用してまいります。心より感謝申し上げます。

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
東日本大震災3日後から仙台市に本部を開設し、被災3県（福島県・宮城県・岩手県）の在宅被災者や農協業への支援を中心に活動を行ってきた。「伴奏型支援」をコンセプトとして、震災支援及び地域づくりの事業を住民の方々と地域に寄り添いながら復興にとどまらない、共生地域の創造を目指す。	東日本大震災での被災地3県の中で最も復興が進んでいない福島県にて現地職員を雇用し、現地のニーズを調査。地域のニーズに合った支援を拾い上げながらその地域に根差していくことのできる活動を支援している。	復興予算も震災10年が経過するとともに縮小されている。今後は震災で浮き彫りとなってきた地域にもともとあった課題をその地域でどう対応していけるかを地域資源となる人や団体への支援を通して模索していく予定。また、被災地の今の情報がわからないといった地域へも情報を発信していく、毎年全国のどこかで起きる自然災害の被災地等へお互いの励ましとなるような関係性を全国に作っていく。
東日本大震災で被災した女性のために雇用の場をつくるとともに、その就労を支援し、女性が経済的に自立した生活を送れるようにサポートしている。また、被災した地域に住む高齢者への食の支援や孤立防止に努め、さらには女性や子ども、高齢者が住みやすい地域づくりや地域再生のための活動を実施してきた。この活動を通して、女性が元気で生き活きとして働ける社会や食を通して、人と人がつながり、互いに助け合い、笑顔があふれる社会の実現を目指している。	団体が所持しているパソコンについて、型番が古く、処理能力が低下した状態にある。スタッフの作業効率向上のため、パソコンの更新が必要であるが、予算との兼ね合いで対処できていない状況である。コロナ禍で対面での打合わせ等が出来ない状況の中、リース終了パソコンを活用し、オンラインでの打合わせの実施や、事務管理等に活用していきたい。	コロナ禍での活動方法や途切れない支援を模索している状況である。また、復興予算が縮小されており、活動の継続性確保や人材の確保が課題となっている中、人と人がつながり、地域の女性が元気でやりがいのある活動が続くよう検討している。この度はリース終了パソコンを寄贈頂きまして、誠にありがとうございます。本パソコンを有効に活用させていただきます。

(広島県)

支援活動内容	リース終了パソコンが必要な理由/ リース終了パソコンを活用してどのような活動を行うのか具体的な計画	その他・今後の課題・将来的な計画等
当会は、国内で中規模以上の災害が発生した場合、レスキュー犬や医師、看護師を伴うレスキューチームを派遣し、現場での捜索救助活動及び、避難所での物資提供、災害弱者支援に加えて、ペット連れ避難者への支援を実施している。	現場での連絡・報告や、事業管理にノートブック型のパソコンが必要である。また、災害に備えるため、平時でも他の国際協力、地域活性化、保護犬等の業務に加えてチームの訓練や物資管理、活動管理にパソコンを利用している。現在は、一部チーム毎にパソコンを共有して使用しているが、効率性を高めるために、パソコンの寄贈を申込み。	近年のIT化に利便性が高くなったことで、効果的な支援活動を行うために、パソコンをはじめ、IT機器の利用が不可欠だが、まだまだ設備面への投資ができない状況である。東日本クラスの地震や、西日本豪雨のような広範囲での被害に対応するため、チーム数の増加が今後の課題である。パソコンの寄贈及び迅速なご対応に、心より感謝申し上げます。

【社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等支援】

(関東地区)

リース終了パソコンが必要な理由/リース終了パソコンを活用してどのような活動を行うのか具体的な計画	その他・今後の課題・将来的な計画等
当法人は、ボランティアから始まった活動で、設備が貧弱である。法人専用のパソコンにし、事務作業用として使用する。	茨城県からの委託事業「一時生活支援事業」を受託することにより、県内全てに対応する機会が増えた。今後、国交省の補助金を受け、更に支援の穴を埋める。また、各市の「一時生活支援事業」等も積極的に受託し、県内の支援の狭間を埋めていく。早速の対応をありがとうございます。頂いたパソコンを、大切に使用させていただきます。

リース終了パソコンが必要な理由/リース終了パソコンを活用してどのような活動を行うのか具体的な計画	その他・今後の課題・将来的な計画等
<p>当法人では、自立援助ホームの運営を行い、様々な理由で家庭で生活できなくなった児童の社会的自立を支援している。利用者の中には、高校卒業を目標に掲げ、通信高校に通いながら学習を続ける者もいる。金銭的な理由からパソコン等を購入できず、学習的・将来的に必要な情報収集が難しいことが多々ある。また、大学に通う者もあり、大学のオンライン授業等にもリース終了パソコンを活用したいと考えている。そして学習機会の提供だけではなく、求人情報の収集等就労支援にも役立てたいと考えている。</p>	<p>今後は、当法人が運営する多機能型事業所アミアスの大学での学生食堂事業と連携し、入居者の就労機会の提供や退所した入居者のアフターケア等をより一層強化していくことが課題だと考えている。現在、入居者の中に調理師免許の取得を目指す者がおり、その目標を叶えるために大学での学生食堂事業を通じて調理等の経験を積むための支援を行っている。その他にも退所者のアフターケアにも力を入れていきたいと考えている。退所者が様々な理由で住居を失ってしまった場合に、一時的に住居を提供、そして保護するためにステップハウス（住居）の運営・管理を行っている。退所者の情報の共有やアフターケア支援の詳細を記録し、これらの支援をさらに促進することで、入居者だけでなく退所者に対しての支援も強化していくことが今後の課題であると考えている。</p> <p>リース終了パソコンのご寄贈をして頂きありがとうございました。私どもの活動にご理解ご賛同頂き、スタッフ一同大変感謝しております。</p>
<p>今年初めに2台使っていたが、1台パソコンが壊れてしまった。財政的に厳しいので、1台のパソコンで作業をしていたが、できればもう1台ほしいと思っている。1台は日誌や小口収入、支出計算をし、もう一台で児童相談所等に送る資料を作りたい。</p>	<p>今後の課題としては、日常的にパソコンに記入するものと書類作成等と分けてパソコンを使っていきたい。ありがとうございました。</p>
<p>当法人が運営しているファミリーホーム、自立援助ホームにおいて、大学授業、塾のオンライン講座で使用させて頂く。</p>	<p>より多くの児童がパソコンを利用できる環境を整備する。大事に使用させていただきます。</p>
<p>シェルターに勤務するスタッフの事務作業。</p>	<p>埼玉県内に子どもシェルターを複数運営したい。感謝申し上げます。</p>
<p>会員の方々に年3～4回にわたりプロジェクトニュースを配布して、子ども達の近況や経済支援をお知らせしている。</p>	<p>今のパソコンは、使い始めて7年目。もう限界にきている。是非、新しいものと思うが、原資は子ども達用にとの寄付会員の方々の思いがあり、購入できずにいる。</p> <p>早速の贈物としてのパソコンをありがとうございます。児童養護施設の子らは、皆が持ちたがっているが、予算に入っていないため、ずっと持たずにいる。就職にもパソコンの使い方が大事で、級をとることも財産である。児童相談所を通している子どもたち、親たちにより生き方を変えざるをえなかった子らに「大事な一助」を授けられますよう心からお願ひ申し上げます。</p>
<p>誰もが使えるシステムの開発を進めている。そのためにも機器の整備が急務になっている。</p>	
<p>オンライン開始時に貸与するパソコンとして活用する。児童養護施設等退所後の自立に備える高校3年生を対象としたセミナー開催時、パソコン等が準備できない高校生がいる施設には、弊団体からパソコン等を貸与した。レンタル用パソコンの確保は費用と手間がかかり、大変だったため、同じ状況が想定される今年度は、少しでも多くのパソコンを確保しておき、参加者が安心してセミナーに参加できるようにした。</p>	<p>弊団体の取り組みの3つの柱は、「自立支援」「人材育成」「啓蒙活動」であるが、社会的養護経験者のアフターケアのためには、どれもやらなくてはならないことがまだ数多くある。特に「自立支援」については、若者達が社会に巣立って健全に自立できるように、プログラムの充実を図っていきたい。</p> <p>この度は貴重なPCをご寄付いただけるとのこと、誠にありがとうございます。</p>

リース終了パソコンが必要な理由/リース終了パソコンを活用してどのような活動を行うのか具体的な計画	その他・今後の課題・将来的な計画等
<p>社会的養護を経験した後に大学・専門学校等に進学する若者達の生活支援を行っている。支援付きのシェアハウスを運営しており、現在4名の入居学生が生活を送っている。コロナ感染症の影響で、オンライン授業が増え、ハウスの居室内で授業を受ける時間が増えた。スマートフォンでオンライン授業を受講している学生もあり、パソコンを活用して受講を支援したいと考えている。</p>	<p>現在、公的な助成がない中で活動を行っている。財源が不安定なため、行政に働きかけ、公的な制度の枠組の中で、活動を続けていきたいと考えている。オンライン授業を受講している学生にとって、大変ありがたい。 物品のご寄付を頂きまして、誠にありがとうございました。ご寄付を賜りますのは、ひとえに御協会の学生へのご理解とご支援のお気持ちとして受け止めさせて頂いております。コロナ禍において、学生達はオンラインでの授業を強いられており、必要に応じて学生達に貸し出しをさせて頂く等活用させて頂いております。おかげさまで、日々の生活に営むことができていることに学生・スタッフ一同、深く感謝いたしております。</p>
<p>当法人では児童養護施設退所者にパソコンを寄付するのみならず、彼らにネットワークを通じてパソコンを得意にできるよう児童養護施設を退所する高校生や退所した若者にもパソコン教室を開催することで、利用者の実情を把握、課題を明示、対応を図っている。パソコンを得意とする地域の若者やベテランをSNSを通じてネットワークを構築、児童養護施設を退所しても継続パソコンに親しみ、宅内、事業環境提供に取り組んでいる。</p>	<p>今後の課題として、第一に福祉交流サロン（児童養護施設退所者の声を聴く勉強会）を続ける。当事者の一人であるカレーコウ君の社長福祉交流サロンは本当に生きる力となった。このサロンを動画にして、SNSで紹介していきたい。第二に、ふらっとホームの再開、児童養護施設を退所した若者がふらっとホームで養護施設退所者のみならず、地域若者とも共住し、出合いを大事にして、困った時には親に代わって“力”になる住民との繋がりを大事にして、次のステップにつながるようにしたい。</p>
<p>コロナ禍で生活に不安な人が増え食品を求める人が多数いる。一方企業・団体からの提供も積極的になっている。限られた人数の中で、いかに効率的に食材、食品をマッチングさせるかが、課題と考える。</p>	<p>この度の提供、誠にありがとうございます。お礼申し上げます。頂いたPCは私どもの団体で、有効に活用させていただきます。</p>
<p>フードロス削減及び食のセーフティネットの観点から、余剰食品の寄付を募る運動すなわちフードドライブを行う。フードドライブを中心としたフードバンク活動を定着するよう活発な広報活動を行い、市民の理解と支援を得る。 1. 食品の入手 2. 食品の管理 3. 食品の提供 4. 品質・安全管理 5. 広報活動 6. 関連団体との連携 7. 「まんぶくBOX」設置事業 上記の活動を行うにあたり、現在ノートパソコン1台でデータ管理その他行っているが、作業の効率化のために2台目のノートパソコンを必要としている。</p>	<p>私たちのフードバンク活動では、ボランティア人員及び資金の不足は常態化しているが、それをカバーするのがITCである。これなくしては支援を必要とする方とのつながり、寄付者及び他団体との連携は不可能と言っている。IT環境を整えるためにパソコンを希望する。 この度は、リース終了パソコンをご寄付頂き、誠にありがとうございました。活動にご理解・ご支援を頂き、スタッフ一同、深く感謝しております。</p>
<p>5人の子どもが自立援助ホームに入居中。5人とも通信制高校に通っているが、コロナ禍でWeb授業やインターネットを利用した学習が増えた。パソコンが不足しており、一斉に授業を受けることができないため、リース終了パソコンを活用して、授業に参加させてあげたいと考えている。</p>	<p>1人1台パソコンが使用できるようにもう少し台数を増やしていきたい。</p>

(近畿地区)

リース終了パソコンが必要な理由/リース終了パソコンを活用してどのような活動を行うのか具体的な計画	その他・今後の課題・将来的な計画等
<p>現在のボランティアメンバーに加えて色々なバージョンで参加される方が増えることを望む。そのためにも、管理簿的にパソコンは不可欠である。</p>	
	<p>嬉しいお知らせありがとうございます。ご厚意に心より感謝申し上げます。大切に活用させていただく所存です。</p>
<p>私共の自立援助ホームでは、入所児童が自由に使えるパソコンを1台も用意できていない。境遇によって携帯電話を持てずにいる児童らもあり、職員らが事務所で利用しているパソコンを共有しているのが現状。彼らが自立生活に向けて学習や就労を進めるにあたって、必要不可欠である設備環境を提供したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 更に快適な居住空間を提供するための環境整備。 • 人員増に対応するため、施設の増設。 • 多様化する利用者ニーズに対応するため、職員の補充・職員の教育。 <p>この度は誠にありがとうございました。</p>

(中国・四国・九州地区)

リース終了パソコンが必要な理由/リース終了パソコンを活用してどのような活動を行うのか具体的な計画	その他・今後の課題・将来的な計画等
2017年の設立以来、4年間の活動を通じて、年々寄贈量、支援先共増加してきている。また、今年6月より、全国フードバンク推進協議会に加入でき、ここから寄贈が始まり、寄贈量の大幅な増加がみられている。今後は在庫状況を迅速に把握できるようにバーコードでの在庫管理も検討している。	今回のリース終了パソコンの譲渡では、大変お世話になりました。これからの事務作業の効率化に役立てたいと思います。ありがとうございました。
フードバンクの活動自体は、必要とされているし、コロナの中、飲食産業が厳しい中で、農家の野菜や米、お土産等が売れなくなり、多くの寄付食品が届くようになった。しかし、一方で、困窮者は急増、フードバンクとしては忙しく、かといってコロナでボランティアを増やすことも出来ず疲弊している。	
	資金が全くないため、今回の申し出は本当に助かります。ありがとうございました。

【特別支援学校支援】

(千葉県)

パソコンの状況	使用目的	その他
調べ学習、ベッドサイド学習に活用。	遠隔教育のため。	
誰もが共有して使用できるパソコンが不足しており、学校購入のパソコンを各方面で使い回している状況。	見え方や聞こえの教室等で使用する。通級指導用の特殊なソフトウェアをインストールしての使用や、給食室の栄養管理に使うパソコンを考えている。	本日パソコンを受領いたしました。有効に使わせていただきます。
児童生徒が使用できる数に限りがあり、ICT機器を同時に複数の学級で使用するには厳しい状況である。	昨年度、視線入力スイッチが導入されたもののパソコンに固定したり、設定したりするため、1台を専有してしまう。そうすると、他の児童生徒が視線入力スイッチ以外の用途で使うことが難しくなることが考えられる。	本校は、知的障害と肢体不自由のある児童生徒が在籍する特別支援学校である。社会に出る時にICTを上手に活用できるようにしてあげたいと考えている。是非、この機会を活用し児童生徒の学びに繋がる一助にしたいと考えている。
授業においては、校務用パソコンを使用して写真や動画を示したり、学習ソフトを使用したりすることが多いのが現状である。	児童への写真・動画の提示、学習ソフトの使用等授業で活用したいため。	
ノートパソコン数台は購入から15年経っており、WindowsXPをバージョンアップして使用している状況である。児童生徒が、毎時間の授業で活用するだけの台数がない現状。	本校は病弱の児童生徒に対して教育活動を行っており、様々な疾患・病状を持つ通学生・病棟生・訪問生・院内生が在籍している。新型コロナウイルス感染症予防のため、「なるべく少数」「移動を最小限」で教育活動を行っているため、交流や行事は、Zoom等のWeb会議システムを活用しているが、ICT機器が十分整っているとは言えない環境である。パソコンを寄贈して頂ければWeb会議システムとして活用することを考えており、児童生徒同士の交流が進むものと思われる。	今回、初めてリース終了パソコンの寄贈を希望させて頂きます。このような社会貢献活動に対して敬意を表すると共に感謝申し上げます。
	職員間での情報共有として校内インフラを構築しているが、一部の職員にパソコンがなく、同じネットワークに入れるようにするため。	
児童・生徒がパソコンを活用した授業を行うにあたっては台数が少ない状況である。	児童・生徒がインターネットを活用した調べ学習を行ったり、文書作成ソフトやプレゼン用ソフトを活用したりする学習に使用したいと考えている。	

パソコンの状況	使用目的	その他
生徒が使用できるデスクトップ型のパソコンがあるが、教室へ持ち運び可能なノートブック型のパソコンは数台しかない。また、本校には院内部という近隣の病院に入院する児童・生徒に指導に行く部署があり、そちらでは学校以上にパソコンが少なく、また古い物(Windows7など)しかない。	寄贈して頂いた場合には、院内部での教科学習や各行事に使用できるようにしていきたいと考えている。	
現場での教育用パソコンの台数が不足している。	視覚障害者（児童生徒向け）のパソコン教育。	
パソコンのスペックがあまり良くなく、ビデオ視聴やZoomの相互鑑賞（インカムがない）、外部からの音声録音等ができないので、業務に支障が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 行事等の動画編集 写真の保存 	
当校では職業や理科、社会等、様々な教科でパソコンを使用する授業が多い。そのため、授業においてパソコンが非常に不足している。授業で必要な時に使用できないことが多々ある。	ここ数年使用の目的は、生徒の学習活動である。施設が手狭でコンピューター室が該当クラスしか使用できないため、教室等でノートパソコンを利用できると大変ありがたい。また、昨今の社会情勢で職員の研修や出張がリモートになることが多々ある。その際に教員各自の校務パソコンは使用できない。また、生徒が学校行事等でプロジェクターとセットで使用する際のツールとして、さらには外部から講師が来た際にはパワーポイント等の発表でパソコンを使用する際のゲスト用として、当学校運営上の様々な場面で活用できると考えている。	ご寄贈頂いたパソコンは、より充実した教育活動の助けになると考えている。是非、当校への寄贈をお願いいたします。この度はリースパソコンの寄贈、誠にありがとうございます。生徒共々、大変楽しみにしております。ご寄贈いただいたパソコンは生徒の授業等で有効に活用させていただきます。
筐体が割れる等物理的に損傷しているものや、動作が不安定なものもあり、生徒の学習や教職員の業務に支障をきたすことがある。毎年、更新及び新規購入の要望を出してはいるものの、難しいのが実情である。また、PTA用のパソコンを用意できず、PTA役員からPTA業務で使用するパソコンの用意を切望されている。	授業や校内行事で活用したい。本校は知的障害のある生徒を対象とした特別支援学校であるため、より具体的な指導支援を要することが多い。プレゼンテーションソフトや動作再生ソフトを使い絵や写真、動画の提示は日常的に行っている。日頃の授業のみならず、入学式、卒業式等の儀式的行事における式次第の提示等、年間を通して教育活動全般で活用したい。また、PTA役員の文書作成や会計処理にも使用する等、授業以外にも積極的に活用したいと考えている。	寄贈頂いたパソコンについては、差支えなければ学校だよりや本校Webサイトを通して、各家庭や学校関係者に紹介させて頂く予定です。この度は多大なご配慮を頂きありがとうございます。大切に使用させて頂きます。

(福井県)

パソコンの状況	使用目的	その他
コロナ禍に伴い、面会制限のため病室でのベッドサイド学習ができなくなり、教員が生徒用のパソコンをオンライン授業に使用することも兼ねている。平常時においても、同学年の児童生徒が複数名在籍している場合には、教室と病室をつないでオンライン授業を行っている。授業用として、タブレット端末も使用しているが、資料を提示する場合にはパソコンが必要になる。	児童生徒の学習および、オンライン授業において使用したいと考えている。	本分教室は、病院の院内学級であり、個別や少人数での学習活動が中心となっている。児童生徒の転出入に伴い、在籍数が多いときには同時に複数のオンライン授業を行うことがある。しかし、ICT機器は不足しており、GIGAスクール構想によるICT環境の整備も、病院内ということや生徒数の増減が激しいことから整備して頂けていない部分大きいという状況にある。そのため、学習環境を整えていきたいと考えており、パソコンの寄贈を希望させて頂いた。

パソコンの状況	使用目的	その他
<p>OSがWindows 7でネットにつなげないノートPCがあり、各教室での実習や印刷物・プレゼンテーション等の制作等に使用している。他に教育用のタブレットはあるもののWindowsでなければできない検定の学習や、登校できない生徒等に教室から遠隔通信するためのパソコンが絶対的に不足している状況である。特に遠隔通信の必要性は本校の特徴から拡大しており、COVID-19の流行による非常時への備えの必要性も加わり切実な状況である。</p>	<p>個別指導の必要性が高く、各教室でパソコンを操作させたい状況は多い。高等部になればパソコン室に移動し授業できる場面は多くなるが、特に小中学部ではノートパソコン寄贈に期待するところが大きい。また、COVID-19の流行による学級閉鎖が想定されており、その際、自宅にいる生徒への遠隔授業体制をどう作るのが喫緊の課題となっている。回線の混雑を回避しながら遠隔授業するためには、昨年度にGIGAスクール構想で整備された無線LANに接続するWindows機を確保する必要があり、このような緊急時には今回のノートパソコンを使用する体制にしたいと考えている。</p>	<p>本校は病弱肢体不自由の児童生徒に特化した特別支援学校であり、児童生徒一人ひとりに対応した個別指導がより重要である。また、病院との連携が必要で病室や自宅との遠隔通信が必要となる場合が多く発生する。どちらに対応するにしてもLAN回線につながるパソコンが欠かせず、現在、その台数が不足しているのは明らかである。以上のことから、今回のノートパソコンの寄贈が大変ありがたいと、是非お願いしたいと考えている。</p>
<p>生徒の実習用としてデスクトップ機が設置されている。他に教育用のタブレットはあるものの生徒用のノートパソコンは存在しない。また前述のデスクトップ機もWindows 8の旧型でWindows10は1台もない。本分教室では、児童・生徒の入退院によって頻繁に生徒数が変化するため、臨時の生徒数増加に柔軟に対応するためのノートパソコンの導入が課題であった。さらに、教室までの移動が困難なために病室で授業することも頻繁にあり、その場合のノートパソコンの利用も考えている。また、教室で教師が遠隔授業をするために使用するパソコンが不足している。</p>	<p>1台は、生徒が増加した時に生徒の実習用パソコンとして使用したり、病室に持ち込んで授業するために使用したりする。OSがWindows10である貴重なパソコンとして使用する。1台は、遠隔通信用に専用のアカウントを設定し、教室で生徒用パソコンを使用している生徒と並行して教師がインターネットを使用する。また、病室で本校や原籍校との遠隔通信をするために使用する。</p>	<p>本校は病弱肢体不自由の児童生徒に特化した特別支援学校であり、児童生徒一人ひとりに対応した個別指導がより重要である。また、病院との連携が必要で病室や自宅との遠隔通信が必要となる場合が多く発生する。どちらに対応するにしてもLAN回線につながるパソコンが欠かせず、現在その台数が不足している。この傾向は、本校の各分教室ではより顕著になる。以上のことから、今回のノートパソコンの寄贈が大変ありがたいと、是非お願いしたいと考えている。</p>
<p>校務用として教員が職員室で使うパソコンは整備されているが、授業において教材を映したり、動画や写真を提示したりするためのパソコンは整備されていない。また、児童生徒が調べ学習をしたり、発表したりする際にはパソコン室に行ってデスクトップのパソコンを使わざるを得ない状況であり、各教室に持ち運んで使えるパソコンは整備されていない。</p>	<p>①教員が授業で活用するため:PowerPointの資料や、手話の教材(動画)等を授業において効果的に提示するために使用する。聴覚障害の特性上、音声だけでの指導は難しく文字や映像等視覚的に児童生徒に伝えていく必要があるため、その手段としてパソコンを活用していきたい。 ②児童生徒の学習活動において活用するため:パソコン室に行かなくても、教室で児童生徒が調べ学習や課題をまとめたりできるようにさせたい。パソコン室が2つしかないため、他の学級と重なることがあり活用する上で不便な状況である。また、調べ学習の発表の場では下級生や先生方にも見てもらうなど、大人数を前に発表させるために、パソコン室以外の部屋に持ち運びができるノートパソコンを活用したい。</p>	

封筒寄贈活動

* 特別支援学校からのメッセージ *

【青森県】

封筒の利用方法等
作業学習の時間にラベル貼り、封入等の練習をしたい。パンフレット、冊子等がありましたら活用したい。作業学習用教材を受け取りました。本当にありがとうございました。たくさんいただきましたので、驚いております。早速、先生方にもお伝えし、子供たちの作業に活用できるよう準備していきたいと思っております。
作業学習でリサイクル封筒やポチ袋を作る。この度は作業学習用の教材をご提供いただけるとのこと、本当にありがとうございます。早速学習に活用させていただきたいと思っております。
高等部の職業・実習の時間でのラベル貼り、押印の練習。封筒を拝受いたしました。このようなきれいな封筒を多数いただき、本当にありがとうございます。子供達の学習に是非役立てさせていただきます。コロナ禍の折、暗い話題が多くなりがちですが、このようなことをしていただけると、心が大変あたたかくなります。大事に使わせていただきます。ありがとうございました。
本校産業科職業に関する教科「オフィスサービスコース」の学習において書類の封入作業の練習に取り組みたい。校内のリサイクル封筒では、サイズも様々なため、同一規格の封筒がそろうことで現実的な作業に近づくとともに、アビリンピックの練習に取り組みやすくなる。

【岩手県】

専門教科、事務実習の基礎として、封筒の再生や押印、ラベル貼り、封入等の練習用とアビリンピック「オフィスアシスタント」の練習用として使用させていただきます。

【山形県】

職業総合学習での事務作業。三つ折りした書類を封筒に入れて閉じ、ラベル貼りと押印の練習を行う。
産業現場等における実習の事前学習で模擬実習を行う際等に利用したいと考えている。これからの学習場面で活用させていただきます。大変ありがとうございました。

【茨城県】

障害者技能競技大会「オフィスアシスタント」練習用、封入・開封の練習、校内配付物用封筒の作成・活用（学校の配付物を各学級に配る際に入れる封筒として活用※作業学習にて実施している。）このたびはありがとうございます。コロナ禍ということで、現場実習もできるか不透明な中、校内実習に向けた教材はとてもありがたいです。
校内実習及び作業学習での部材・教材としての利用。
作業学習等で封入、封緘の練習を行う。ありがとうございました。今後の学習活動に、様々なかたちで活用させていただきます。
中学部生徒が職業・家庭の学習において、封緘やラベル貼りの練習に利用したい。封筒の方、受け取りいたしました。たくさん送っていただき、感謝しております。生徒のスキルアップに向けて活用させていただきます。
スタンプ押し等の職業トレーニング、再生封筒の作成等のリサイクル活動に活用させていただきたい。学校に封筒が届きました。とても美品で感謝しております。現在、本校はオンライン配信などで児童生徒の登校が難しい状況ですが、この期間を有効利用し、担当教員で頂いた封筒のより良い活用法を話し合っていきたいと思っております。この度はこのような機会をいただき誠にありがとうございました。

【栃木県】

中学部作業学習（農園芸班）雨天時の作業としてまたは、3学期の校内実習期間中の作業内容として宛名貼りやスタンプ押し、シュレッダー等を考えている。
作業学習にて、ラベル貼りやスタンプ押印等の活動を行う時に使用したいと思う。
ラベル貼りの練習や再生封筒の作成等に活用させて頂く。 ありがとうございます。作業学習で活用させていただきます。送っていただいた封筒の修正シール貼りは、皆集中して取り組んでいました。校内での作業ではなかなか経験できないことが経験でき、皆張り切っています。
作業学習において、封筒のラベル貼り、押印練習等を行い、完成したものは校内で利用する。また、マチ付き封筒も頂けるとのことだったので、和紙を貼る等作業学習の中で模様を付け、学校祭での作業製品販売時に利用する。 是非、リサイクル封筒を活用して作業学習を行いたいと思い、申し込みをさせて頂きました。作業内容を色々検討している中で、いい経験をさせて頂くことになり、大変感謝しております。
全国アビリンピック（オフィスアシスタント）の封筒折り等の練習・軽作業（封筒の再利用等）における使用等。 封筒が到着いたしました。今後、アビリンピックのオフィスアシスタント競技の練習等で使用させていただきます。また、授業内での活用（軽作業・封筒の再利用等）も検討していきたいと考えております。
作業学習・アビリンピック（オフィスアシスタント）練習・生活単元学習（封筒を加工した作品づくり）等。 封筒、届きました。たくさんいただいた上に、修正練習用のシールまで添付していただき、感謝しております。有効活用し、生徒の指導に役立てたいと思います。

【埼玉県】

作業学習→封入作業等、自立活動→分別等、美術→作品材料等。
学校内実習でのラベル貼り、スタンプ押印。封筒内に書類を入れる練習。
ラベル貼り・封緘・スタンプ押印・シュレッダー作業。 この度はどうもありがとうございます。生徒にとって、非常にいい経験になると思います。校内実習で使用させていただきます。
環境・サービス科オフィスサポートコースの授業において、「封筒サイズ」「封入・封緘」「宛名シール貼り」等の学習に利用させて頂きたい。また、アビリンピックの競技練習で活用したいと考えている。 たくさんの方の封筒を送っていただきありがとうございました。今後授業等で活用させていただきます。
職業・自立活動・校内実習の授業で使用する。 作業学習用教材の封筒が学校に届きました。今後授業で活用させていただきます。
高等部の作業学習において、再生封筒の作成で利用する。
作業学習での押印・ラベル貼・封入・封緘等。職業（教科）の授業において、封入作業など軽作業の取り組みに利用。 ポチ袋等の利用を検討している。
作業班（印刷班）での押印・ラベル貼り、封入等の作業練習にて使用する。
封入の作業のため。
オフィスサービスの作業学習で使用する。封緘の練習・ラベル貼りの練習・スタンプ押印の練習。 本日、作業学習用教材の封筒を頂戴させていただきました。ありがとうございます。作業学習や校内作業実習で活用させていただきます。
再生封筒の作成・スタンプ押印の練習・封入作業の練習等。 封筒のご用意、ありがとうございました。活用させていただくのがとても楽しみです。
普通科と職業学科において下記のように利用方法を考えている。 普通科の校内実習作業において、封筒の加工作業、押印等の作業学習。職業学科の専門コースにおいて封入やラベル貼り等の作業学習。
作業学習でのラベル貼りの練習及びスタンプ押印の練習等。
作業学習で使用することを考えている。

【長野県】

現場実習の校内工場での事務作業で使用予定（リサイクル封筒づくり）。 封筒届きました。校内実習のお仕事として使わせていただきます。ありがとうございました。
封入作業の練習。B型事務所での仕事のイメージ作り・ラベル貼り、押印、封緘の練習。
糊付けした紙を決められた位置にきれいに貼る作業を個別学習の時間等を利用して進めたいと考えている。
校内で働く力を高めるための授業で使用。封入用のパンフレットまたは冊子が是非ほしい。大変助かるお話でありがたい。 実習に向けての作業活動等。

【愛知県】

主に封入作業で利用したいと考えている。押印やラベル貼りの作業も行ってみたいと思う。
作業学習で封入作業や数え作業で使用させて頂く。
高等部生徒の「職業」の授業におけるチラシの封入作業の学習に使用する予定にしている。また、現場実習等で封入作業の事前や事後の学習に使用する予定にしている。
ラベル貼り、封入、封緘の練習、シュレッダー作業等に活用させて頂く。

【京都府】

産業現場等における実習に向けての練習で使用を考えている。 封筒が到着しました。授業等で有効活用させていただきます。
ラベル貼り、スタンプの押印等の軽作業。封筒を加工して再利用等。 封筒が届きました。ありがとうございました。
学内の作業学習や軽作業生活単元学習で利用する。
再生封筒の作成やラベル貼り、スタンプ押印の練習等を行いたいと思う。 作業学習用教材の封筒とクリアファイルを受け取りました。たくさんの封筒、クリアファイルをありがとうございました。今後の作業学習で活用させていただきます。

【島根県】

高等部のワーキングタイム（軽作業等取り組む時間）に生徒の作業の一つとして取り組む。 早速、クリアファイルを送っていただきありがとうございました。大事に使わせていただきます。
再生封筒やエコバックを製作したいと思う。 クリアファイルが届きました。ありがとうございました。大事に使わせていただきます。
高等部の作業学習でのラベル貼の練習、スタンプ押印の練習。
作業学習でスタンプ押しと封筒作成に使用。
アピリンピック「オフィスアシスタント」の練習。 クリアファイル、ぜひ活用させていただきたいです。クリアファイルが届きました。校内で紹介し、使用させていただきます。ありがとうございました。

【広島県】

ラベル貼り、押印の練習等・シュレッダー作業。
封入作業に必要な技能練習・スタンプ押しの技能練習・宛名書きの技能練習等。 作業学習用教材の封筒を受け取りました。大事に活用させていただきます。ありがとうございました。
高等部の作業学習において、封入、封緘、ラベル貼りの作業で活用する。 作業学習用教材が届きました。このようにたくさんお送りいただき、誠にありがとうございます。コロナ禍で生徒たちの活動内容を制限せざるをえない中で、お送りいただいた教材で活動を充実させることができそうです。
作業学習、職業の授業にて押印、ラベル貼り、封入作業、仕分け作業の教材として活用する。

【鹿児島県】

ラベル貼り・シュレッダー処理等。 この度は作業学習用教材として封筒を寄贈していただきありがとうございました。いただいた封筒は紙袋に再生し活用させていただきます。貴重な機会をいただいたこと、感謝しています。
アピリンピック「オフィスアシスタント」の練習や発送作業の指導の際に使用したいと考えている。